

大津市企業局舗装工事記録写真撮影基準

令和2年4月

大津市企業局

目 次

1. 大津市起業局舗装工事記録写真撮影基準

- 第1 目的
- 第2 適用範囲
- 第3 工事写真の分類
- 第4 写真の色彩
- 第5 写真の大きさ
- 第6 工事写真帳の大きさ、表紙
- 第7 工事写真の提出部数
- 第8 工事写真の整理
- 第9 電子媒体に記録する工事写真
- 第10 工事写真の撮影頻度
- 第11 撮影上の注意事項
- 第12 撮影方法
 - (1). 工事状況の写真
 - ① 工事着手前及び工事完成写真
 - ② 工事施工中の写真
 - (2). 出来形管理写真
 - (3). 検収写真
 - (4). 品質管理写真

I. 舗装工事記録写真撮影基準

第1. 目的

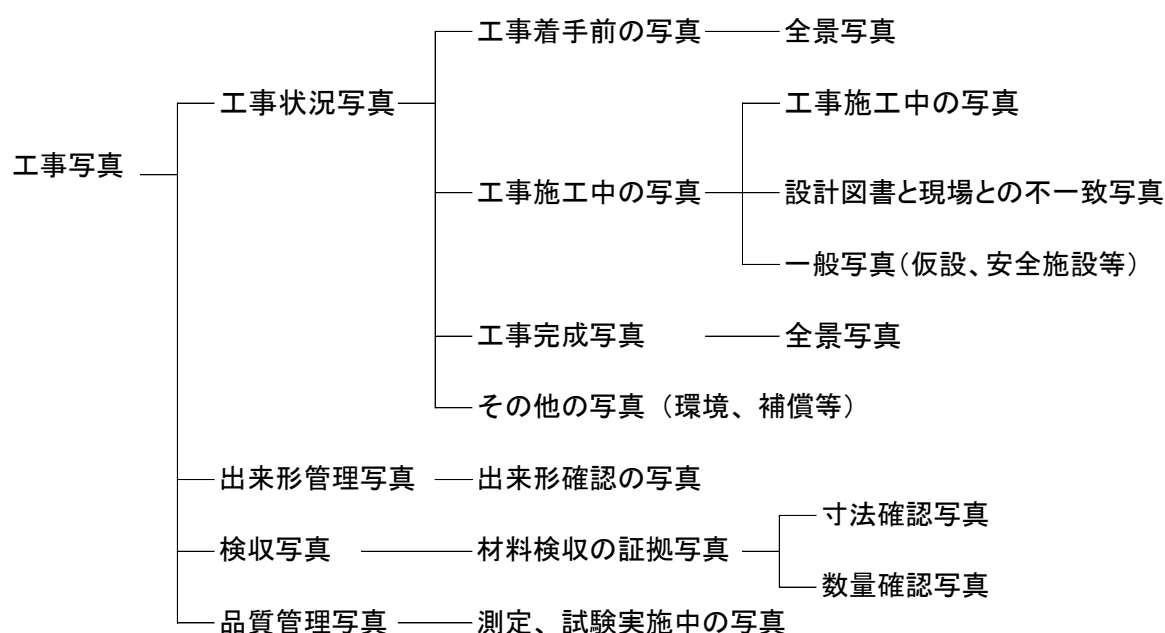
この基準は、大津市企業局が発注する舗装工事で受注者が局に提出する工事記録写真についての基本的事項を定め、工事監督及び工事検査の適正化を図ることを目的とする。

第2. 適用範囲

この基準は、大津市企業局が発注する舗装工事に適用する。
受注者は、工事記録写真の撮影にあつては、各工種の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来高寸法、品質管理状況の写真等を撮影し整理しておくものとし、また、これに定めのないものについては、監督職員の指示に従い撮影するものとする。

第3. 工事写真の分類

工事写真は、目的別に次のように分類を行うものとする。



第4. 写真の色彩

写真は、カラーとする。

第5. 写真の大きさ

写真の大きさは、原則としてサービスサイズとする。ただし、次の場合は別の大きさとする事ができる。

- (1) 着手前、完成写真等のつなぎ写真とした方がよいもの。
- (2) 監督職員が指示するもの。

第6. 工事写真帳の大きさ、表紙

工事写真の大きさは、A4版を標準とする。なお、表紙には、契約番号、工事名、工事場所、工期(着手・竣工)、受注者名等を記入のうえ必ず受注者の社印等を押印し提出する。

第7. 工事写真の提出部数

工事写真の提出部数は、次によるものとする。

- (1) 工事写真帳と原本を各1部、工事完成時に提出する。
- (2) 監督職員が指示する写真については、提示する時期に指示する部数を提出する。
- (3) 原本としては、ネガまたは電子媒体とする。

第8. 工事写真の整理

写真帳の整理方法は、次によるものとする。

- (1) 工事写真帳は工種毎、施工段階毎に整理し、余白に見取り図、説明、整理番号を付すること。
- (2) 写真帳の巻頭に案内図及び位置図を付し、撮影箇所と写真が対比できるようにしておくこと。
- (3) 工事写真の原本を電子媒体で提出する場合は撮影内容がわかるように写真一覧（コマ撮りしたもの）を添付するものとする。

第9. 電子媒体に記録する工事写真

- (1) 電子媒体に記録する工事写真の属性情報については、国土交通省「デジタル写真管理情報基準（案）」に準拠すること。

第10. 工事写真の撮影頻度

工事写真の撮影は、「撮影箇所一覧表」に示したものを標準とする。ただし、特殊な場合で監督職員が指示するものについては、指示した項目、頻度で撮影する。

第11. 撮影上の注意事項

写真の撮影にあたっては、次の事項に注意すること。

- (1) 原則として次の項目を記載した小黒板を被写体と共に写し込むこと。

- ① 施工年度、契約番号
- ② 工事名
- ③ 工事場所
- ④ 測点（位置）
- ⑤ 工種等
- ⑥ 設計寸法
- ⑦ 実測寸法（カッコ（ ）書きとする。）
- ⑧ 略図
- ⑨ 受注者名

令和〇〇年	契約No.	〇〇号
工事名	〇 〇 〇	工事
工事場所		
測点		
工種		
略図		
		出来形寸法 設計 実測（ ）
受注者名		

- (2) 撮影区域の長いものについては、起終点及び必要な場合は中間地点（数点）にポールを立て、位置（測点）の表示をすること。
- (3) 夜間工事については、鮮明な映像がえられるように、特に照明に注意すること。
- (4) 写真は撮影の時期、工程、施工の順序 が判定できるように整理すること。

第12. 撮影方法

工事写真の撮影は、次の方法によること。

- (1) 工事状況の写真

① 工事着手前及び工事完成写真

- ア. 着手前及び完成後における工事区間の全体状況を把握するため、写真は定点をもって同一方向から同一箇所を撮影する。
- イ. 工事区間（路線）の全体を、測点ごとに、着手前と完成後とが比較対照できるように撮影する。ただし、全景写真で状況把握が不十分な場合は、部分写真を撮影し、全景写真を補完する。

② 工事施工中の写真

- ア. 施工中の状況、機械の組み合わせ等が把握出来るように撮影する。
- イ. 設計図書に合った適正な工事がなされているかどうかの判断材料とするため、設計図書をよく理解し、工種ごとの進捗に合わせ撮影をしなければならない。
- ウ. 撮影の際、その目的が判然と表現できるよう箱尺、リボンテープ、黒板等を常に画面に入れて撮影する。

- エ. 施工場所がはっきり確認できるよう可能な限り、付近の目標物を写し込んで撮影する。
- オ. 設計図書と現地とが一致しない場合の判定資料とするため、写真で明確に不一致な状況が判断できるよう黒板に寸法等を表示し撮影する。
- カ. 安全管理に必要な施設等は、道路交通の安全及び従業員の安全等を確保するために工事現場に設置するものである。工事をしたことが確認でき、また万一事故が発生した場合の原因説明ができるように撮影する。

(2) 出来形管理写真

- ①撮影箇所は原則として出来形計測する測点において撮影する。
- ②目的物の種類、測点、寸法の判定が出来るように工夫する。特に寸法については、設計値と実測値が対比出来るように撮影すること。

(3) 検収写真

工事に使用される材料の寸法、数量等を使用後において確認するため、材料が現場に搬入された時点で、寸法及び数量等の他、J I Sマーク等の規格表示部分の写真を撮影する。

(4) 品質管理写真

使用材料の品質を確認するため、試験や測定の実施状況を撮影する。

※ 大津市企業局舗装工事記録写真撮影基準に記載なき事項等については、滋賀県一般土木工事等写真撮影基準（案）を参照すること。

撮影箇所一覧表

工 種		項 目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	備 考
一 般	着手前・完成	着手前	全景又は代表部分(測点)撮影	着手前1回	同一方向から同一箇所を撮影する。
		完成	全景又は代表部分(測点)撮影	完成後1回	
	施工状況写真	工事施工中	施工中の写真	工種、種別毎に共通仕様書及び諸基準に従い施工していることが確認できるように適宜	
		図面との不一致	図面と現地との不一致写真	必要に応じて	工事打合簿に添付
	安全管理		各種標識類の設置状況	設置後各種類毎に1回	
			各種保安施設の設置状況	設置後各種類毎に1回	
			交通整理員状況	作業中1回	
			安全訓練等の実施状況	実施毎に1回	
	使用材料		数量・形状	搬入時各品目毎に1回	使用前
	品 質 管 理	下層路盤	現場密度の測定	試験実施中	各種路盤毎に1回
プルフローリング			試験実施中	路盤毎に1回	
骨材のふるい分け試験			試験実施中	品質に異常が認められた場合	
土の液性限界・塑性限界試験					
含水比試験					
上層路盤		現場密度の測定	試験実施中	各種路盤毎に1回	
		プルフローリング	試験実施中	路盤毎に1回	
		土の液性限界・塑性限界試験	試験実施中	品質に異常が認められた場合	
		含水比試験			
セメント安定処理路盤(施工)		粒度	試験実施中	各種路盤毎に1回	
		現場密度の測定	試験実施中		
		含水比試験	試験実施中	品質に異常が認められた場合	
		セメント量試験	試験実施中		
アスファルト舗設(プラント)		粒度	試験実施中	合材の種類毎に1回	
		アスファルト量抽出粒度分析試験	試験実施中		
		温度測定	試験実施中		
アスファルト舗設(舗設現場)		現場密度の測定	試験実施中	合材の種類毎に1回	
		温度測定	試験実施中		
		外観検査	試験実施中		
		すべり抵抗試験	試験実施中		

工 種	項 目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	備 考	
品質管理	あと施工アンカー	施工中	削孔穴清掃状況、削孔径、削孔深さ、アンカーボルト先端形状、アンカーボルト径・長さ、カプセル有効期限(4箇所)に1箇所程度)		
		施工後	自主検査(目視、接触、打音)全数、加力試験(監督員立会)		
	路床安定処理工	現場密度の測定	試験実施中	路床毎に1回	
		プルーフローリング			
		平板載荷試験			
		現場CBR試験			
		含水比試験	試験実施中	降雨後又は含水比の変化が認められた場合	
		たわみ量	試験実施中	プルーフローリングの不良箇所について実施	
	排水性舗装工 透水性舗装工 (プラント)	粒度	試験実施中	合材の種類毎に1回	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
	排水性舗装工 透水性舗装工 (舗設現場)	温度測定	試験実施中	合材の種類毎に1回	
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
		外観試験			

出来形管理	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
		整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
		整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	

工 種	項 目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	備 考	
出来形管理	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定 処理工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
		整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
		整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
	アスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回 ※3	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
	アスファルト舗装工 (表層工)	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
タックコート プライムコート		散布時	各層毎に1回 ※3		
厚さ		施工後	各層毎40mに1回 ※1		
幅		施工後	各層毎80mに1回		
平坦性		施工中	監督員との協議による。		
半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4		
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4		
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1		
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2		
半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4		
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4		
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1		
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2		
半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定 処理工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4		
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4		
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回(整正後) ※1		
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2		
半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4		
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4		
	幅	整正後	各層毎80mに1回 ※2		
	厚さ	整正後	各層毎40mに1回 ※1		

工 種	項 目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	備 考	
出来形管理	半たわみ性舗装工 (基層工)	厚さ	施工後	40mに1回 ※1	
		整正状況、幅	整正後	各層毎80mに1回 ※2	
		タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回 ※3	
	半たわみ性舗装工 (表層工)	厚さ	施工後	40mに1回 ※1	
		整正状況、幅	整正後	各層毎80mに1回	
		タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回 ※3	
		浸透性ミルク注入状況	注入時	400mに1回 ※1	
		平坦性	施工中	監督員との協議による。	
	排水性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
		整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
		整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定 処理工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
		整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		厚さ	施工後	40mに1回(整正後)※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
	排水性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
整正状況		施工後	各層毎400mに1回 ※4		
幅		施工後	各層毎80mに1回 ※2		
排水性舗装工 (基層工)	厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1		
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2		
	タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回 ※3		
排水性舗装工 (表層工)	厚さ	施工後	40mに1回 ※1		
	整正状況、幅	整正後	各層毎80mに1回		
	タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回 ※3		
	平坦性	施工中	監督員との協議による。		
透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4		
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4		
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1		
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2		

工 種	項 目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	備 考
透水性舗装工 (表層工)	厚さ	施工後	40mに1回 ※1	
	整正状況、幅	整正後	各層毎80mに1回	
	平坦性	施工中	監督員との協議による。	
コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
コンクリート舗装工 セメント(石灰・瀝青) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回(整正 後) ※1	
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
	幅	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
薄層カラー舗装工 セメント(石灰・瀝青) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回(整正 後) ※1	
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
	厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	

出来形管理

工 種	項 目	撮影箇所及び内容	撮影頻度	備 考	
出来形管理	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	施工後	400mに1回 ※4	
		タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回 ※3	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回(整正後) ※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
		整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4	
		整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4	
		厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1	
		幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2	
ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定 処理工	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4		
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4		
	厚さ	施工後	40mに1回(整正後) ※1		
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2		
ブロック舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回 ※4		
	整正状況	施工後	各層毎400mに1回 ※4		
	幅	施工後	各層毎80mに1回 ※2		
排水性舗装工 (基層工)	厚さ	施工後	40mに1回 ※1		
	整正状況、幅	整正後	各層毎80mに1回 ※2		
	タックコート プライムコート	散布時	各層毎に1回 ※3		
路面切削工	幅、厚さ	施工後	各層毎40mに1回 ※1、2		
オーバーレイ工	平坦性	施工後	監督員との協議による。		
	タックコート	散布時	各層毎に1回 ※3		
	整正状況	施工中	各層毎40mに1回 ※1、2		

※なお、延長が40mに満たない場合(断面構成の異なる道路部のすり付け等)は、各断面ごとに撮影する。

※延長40mに満たない場合も、出来形管理(下がり管理)は横断方向で行う。その場合も、測点1ヶ所当たり、左・中央・右の3点を撮影する。ただし、幅員が2.5m未満で管理に支障の無い場合は、監督職員と協議の上、左・右の2点とすることができる。

※1 同一断面が延長200m以上続いている場合は、撮影頻度が各層毎80mに1回とする。(厚み)

※2 はめ込み切削オーバーレイにおけるはめ込み部分(表層と値がことなる場合)についても撮影頻度が各層毎40mに1回とする。(厚み)

※3 サイドタックコートについては各層ごとに縦横断及び既設構造物との接合面に塗布状況を撮影する。撮影頻度については、路線ごとにそれぞれ撮影する。

※4 複数の路線が同一断面であっても、路線ごとに施工状況写真を撮影する。
(例:3路線が同一断面で総延長が450mある場合)